

このシリーズでは、社会生活における生きにくさを本人の立場からとらえ、発達障害のある人にとって生活の安定、安心につながるための支援のあり方について考えていきたいと思います。

「日常をすゞ中で、感じている」とはありますか？

Aさん(当事者) 人と接するときは緊張感や不安を感じることが多いです。相手の言動の意味がよくわからず、とまどってしまったり、他の人から自分がどう思われているかといふことや、自分が発言をしたら、相手からどう言われるかが気になり、落ち着かない気持ちになります。

S(支援者) Aさんの話にあるように、むしろ人に気を遣い、緊張して心身共に疲れやすいという人は多いですね。また、他人が思ひもよらないところに不安や脅威を感じ、なかなか解消できないという人もいます。

このように本人の苦労が周囲の人には理解されないまま、「周りの空気が読めない」とか、「人の気持ちがわからない」と言われてしまうことが多いですね。

「日常をすゞ中で、感じている」とはありますか？

Bさん(当事者) 自分なりの決めごとや秩序があるのに、他人にはわからってもらえない、無視されたり、邪魔されることや、予定して

いたことが突然中止になったときなど、混乱して自分でどうして良いかわかりませんで

した。学校や職場では、そういうことがたくさん起きます。

「随分と苦労されているのですね。

T(支援者) 突然の変更や変化に弱いということもよくいわれます。しかし一方で本人にとって見通しが持てたり、「こういうことをやれば出来るんだ」という体験があることで確実にそれが積み重なると自信を持つたたちであると思います。

実際に、本人の気持ちが安定、安心できると、その人の振舞や人との関わり方が変わってくることを実感しています。

（げんきスタッフによる座談会から再構成しました。）

世田谷区発達障害相談・療育センター

開所日時

月～土曜日（祝日及び年末年始を除く）

午前9時～午後6時

利用方法

利用は予約制です。利用を希望される方は、直接『世田谷区発達障害相談・療育センター「げんき」』へお電話にてお申し込みください。

〒157-0074 世田谷区大蔵2-10-18
大蔵二丁目複合型子ども支援センター2・3階
TEL 03-5727-2235（代表）
03-5727-2236（相談専用）
FAX 03-5727-2238
URL <http://www.ryo-iku.jp>

編集後記

渡辺久子先生の講演会は、ほとんど空席がないほどの大盛況で皆様の発達障害と子育てへの関心の深まりを感じました。渡辺先生は幼児期に診られたお子さんのその後も長年にわたり見守っていらっしゃいます。今は成長したお子さんたちが、今度は子どもたちを見守る立場となって、会場にも来てくださいり、先生も再会を喜んでいらっしゃいました。生涯を通じての支援は私たちにとっても大きな課題です。

アクセス



「成育医療センター前」「大蔵二丁目」バス停下車すぐ

- 東急バス・小田急バス 渋24 成城学園前駅 ⇔ 渋谷駅
- 東急バス 都立01 等12 用06 成城学園前駅 ⇔ 都立大学駅北口
成城学園前駅 ⇔ 等々力操車所
成城学園前駅 ⇔ 用賀駅
- 小田急バス 渋26 調布駅南口 ⇔ 渋谷駅
- 東急コーチ 玉31-32 二子玉川駅 ⇔ 成育医療研究センター

※駐車場はありません。

業務受託

社会福祉法人 嬉泉

〒156-0055 世田谷区船橋1-30-9
TEL 03-3426-2323 FAX 03-3706-7242
URL <http://www.kisenfukushi.com>